

第18回法人会全国女性フォーラム「広島大会」に参加して

女性部会部会長 株式会社 谷下組 谷下美恵子

第18回法人会全国女性フォーラム広島大会が、去る4月18日、全国399単位会から約1700名の参加者の下、広島グリーンアリーナに於いて盛大に開催され、当会からは4名が参加させていただきました。当日は早朝の徳島駅発高速バスにて出発致しました。

広島会場では全国からの参加者でごった返し、受付を終えると先ずは第1部記念講演。広島交響楽団桂冠指揮者、下野竜也氏による「音を出さない音楽家」としての輝かしいご経歴、師と仰ぐ朝比奈隆氏との出会い等々、ソフトな語り口でお話になられ、その後狭いステージで楽団員の皆様の演奏にタクトを振られました。

第2部の式典ではオープニングに「税に関する絵はがきコンクール」の受賞発表がモニターに流され、ご来賓の入場となりました。因みに、絵はがきコンクールでは徳島文理小学校6年生児童が全法連女連協会長賞を受賞されました。全法連小林栄三会長からは小学生に対する租税教育の一環としての絵はがきコンクールへの取り組みに更なる充実を、また令和4年度からの「食品ロス」の削減への取り組みは「法人会活動の基本である地域社会の健全な発展を目指す」事に留まることなく持続可能な社会を目指し、より一層の充実した活動へと期待します、とのお言葉でした。尚、能登半島地震への見舞金として3700万円が集められた事へのお礼の言葉を頂きました。そして、大会宣言「2024 HIROSHIMA 今、みつめなおそう！～多島美の瀬戸・豊かな里山から～」がなされました。事例発表ではペットボトルのキャップ収集と能楽体験の2件に興味を覚えました。キャップはワクチンに変わること、また能楽は着物や袴に触れる機会を作ること、厳島神社や出雲大社の存在が能楽を盛んにする要因でしょうか。「税に関する絵はがきコンクール」は平成13年広島県福山法人会が初めて取り組まれ、現在の活動に発展したと再認識致しました。

第3部は原爆により被爆した被曝ピアノとビオラによるウェルカム演奏で幕が開きました。乾杯の後のアトラクションは圧巻の八岐大蛇の御神楽で、演舞される方の熱気に圧倒された感動の一時でした。

一年に一度の女性フォーラムでの全ての出会いに感謝しながら、次回北海道での新たな出会いに思いを馳せ会場に別れを告げました。

